

令和8年9月10日会議概要

第1 日時

令和8年9月10日（木）午前9時20分から午後0時までの間

第2 出席者

池坊委員長、森委員、森田委員、在田委員、野瀬委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長等
《書記 総務課公安委員会補佐室長、同室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

科学捜査研究所視察・職員との懇談会（9月3日）

委員から、「他県警の不適正事案を受け、ダブルチェックを更に強化しているとの説明を受け理解した。業務的に慎重・正確が求められる上、ダブルチェックで業務量も増えるのでオーバーワークにならないように配慮願いたい。」「懇談会で、職員から『立証面で細かい作業が増加しておりスペースを確保してほしい』等の要望があった。」「懇談会では率直な意見を伺った。より働きやすくなるよう少しずつでも改善を願っている。」旨、発言があった。

2 議題

(1) 令和8年京都府警察職員殉職者慰霊祭について

警務部長から、本年11月18日、京都府警察学校において、「令和8年京都府警察職員殉職者慰霊祭」を執り行う旨、報告があった。

委員から「重要な行事であり、公安委員一同参列する。」旨、発言があった。

(2) 第72回警察美術展の開催について

警務部長から、令和9年1月13日から同月17日までの間は京都市美術館別館、同年2月11日から同月14日までの間はバザールタウン綾部アスパ館において、第72回警察美術展を開催する旨、報告があった。

委員から、「毎年力作揃いであり、ぜひ多くの一般府民に来場してもらいたい。」旨、発言があった。

(3) 大学ゼミ対抗プロジェクト「ポリス&カレッジ in KYOTO 2026」の実施について

交通部長から、大学ゼミ対抗プロジェクト「ポリス&カレッジ in KYOTO 2026」を実施する旨、報告があった。

このプロジェクトは、各大学ゼミに交通安全の施策に結び付くアイデアを提案してもらう取組で、今回は5大学13チームが参加し、「生活道路に対する交通安全施策」をテーマに調査研究を行い、11月14日に研究発表会を開催する旨、説明があった。

委員から、「様々な大学生に参加してもらい、採用にも繋げていただきたい。」「毎年、インパクトのある内容が出てきているので、多くの方に関心を持っていただきたい。」旨、発言があった。

(4) 京都市及び「京まふ」出展者と連携した特殊詐欺被害防止等広報啓発活動の実施について

京都市警察部長から、京都市及び京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会が主催する「京都国際マンガ・アニメフェア2026（通称：京まふ）」出展者と連携した特殊詐欺被害防止等広報啓発活動を実施する旨、報告があった。

京都市及び「京まふ」の出展者と連携して、アニメコンテンツを活用した啓発物を共同制作し、多くの来場者が予想される会場において、特殊詐欺被害防止及び闇バイト加担防止を図る広報啓発活動を行う旨、説明があった。

委員から、「財政的に難しいと思うが、広報啓発物がアニメの放映に合わせて出られると京都府警察の大きな広報になる。」「普段情報が届きにくい若い世代の思考に沿ったアプローチだと思う。予算もあるが、今後も継続できれば効果的だと思う。」旨、発言があった。

(5) 初任科第 278期（短期課程）の卒業式の実施について

警察学校長から、本年9月25日、警察学校において実施される初任科第 278期（短期課程）卒業式の実施概要、出席者、教養状況等について報告があった。

委員から、「今回の卒業生は、サイバー対処捜査官等多様性に富んでおり、それぞれの特性を活かして、当府警察の警察力の充実に貢献することを期待している。」旨、発言があった。

(6) 「京都平安策2027」の策定について

警務部長から、「京都平安策2027」の策定に向けた今後のスケジュールについて説明がなされた後、同骨子案について議論が行われた。

3 追加報告

令和8年度全国通信指令・無線通話技能競技会予選への出場結果について

地域部長から、本年9月9日、警察大学校で行われた令和8年度全国通信指令・無線通話技能競技会予選の出場結果について報告があり、グループで2位となり、本年11月12日、中央合同庁舎2号館において開催される本選に出場する旨、説明があった。

4 警察本部長総括

警察本部長から、「9月14日付けで異動となるが、在任期間中、交通安全対策や子供・女性・高齢者の安全対策等府民に身近な施策に関し、情報発信や関係機関・団体との連携の在り方について、府民目線からの貴重なご助言を多数いただき感謝申し上げます。また、警察官の採用、育成や組織構造の弾力化といった警察運営の根幹に関わる重要課題に関して、組織運営に関する高度な専門知識や豊富な経験に基づくご意見をいただいた。府民の安全安心を守り抜くという重大な職責を果たすために、引き続き京都府警察に対するご指導をお願いする。」旨、発言があった。

委員から、「適正な職務執行はもとより、意思の疎通がしやすく、個々の職員が能力を発揮しやすい職場環境の実現に尽力され感謝している。新天地での活躍を期待している。」旨、発言があった。

5 聴聞等

運転免許関係行政処分について

運転免許試験課交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、22件の行政処分を審議した。

6 個別決裁

(1) 犯罪被害者等給付金（重傷病）について

警務課犯罪被害者支援室長から、犯罪被害者等給付金（重傷病）の支給裁定申請に伴う調査及び検討結果について説明があり、審議の上、給付金を支給しないことを決定した。

(2) 公安委員会宛て苦情について（受理1件、意見要望2件、処理1件）

総務課公安委員会補佐室長及び同室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情申出に関して、受理1件、意見要望2件の報告があり、処理方針を決定した。また、公安委員会宛ての苦情申出1件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

7 個別報告

(1) 特定小型原動機付自転車等の二段階右折の周知に向けた取組について

交通企画課モビリティ対策室室長補佐から、特定小型原動機付自転車等の二段階右折の周知に向けた取組について報告があった。

(2) 生活道路における自動車の法定速度引き下げに伴う最高速度規制の実施（京都市内）について

交通規制課交通規制官から、改正道路交通法施行令の施行により、法定速度が30キロメートル毎時に引き下げられる道路のうち、車道幅員等の観点から、30キロメートル毎時の最高速度が適用されることが実態に合わないものについて、最高速度規制を実施した旨、報告があった。

委員から、「法定速度引下げ前に30キロメートルを超える規制を実施している区間について、引下げの趣旨を踏まえて再度検証していただきたい。」旨、意見があった。

(3) 京都府内のアンダーパスについて

交通規制課交通規制官から、京都府内のアンダーパスの箇所数や安全施設等について報告があった。

(4) 当面の行事予定等について

総務課長及び総務課公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。